令和７年度

自己評価報告書

（自：令和７年４月１日　至：令和８年３月31日）

専修学校香川県美容学校

自己評価結果
【適切……4　ほぼ適切……3　　やや不適切……2　　不適切……1】

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	取組状況
学校の理念・目的・人材育成像は定められているか	4	理念・目的・人材育成像については、明確に定めており、それを基に学生指導を行っている。
学校の目指す育成人材像は、専門分野の特色が理解され指導に取り入れられているか	4	専門分野の特色を生かせるように、学生指導を行っている。
学校の理念・目的・人材育成像などが学生や保護者に周知されているか	4	学校パンフレットに理念・目的・人材育成像に関する内容を掲載している。

　本校は、香川県美容業生活衛生同業組合が設立した美容学校です。
　学校の基本理念「美容業界でイノベーションを起こせる人材を養成する」を基に学生指導を行っています。
　学校の目的は、学則第１条　「本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、衛生専門課程を設置し、美容師法の規定による美容師として必要な専門的知識及び技術を修得させるとともに、教養の向上を図ることをもって地域社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。」

2. 学校運営

評価項目	評価	取組状況
目標に沿った運営方針が策定されているか	4	教育理念、目的に沿った運営を行っている。
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	事業計画を毎年立案しそれに基づき学校運営をおこなっている。
運営組織や意思決定機能は明確化されて有効に機能しているか	3	学校運営規約に明確化され有効に機能されている。
教育活動等に関する情報公開は適切になされているか	4	ＨＰで活動状況を公開している。
情報システム化等による業務の効率化がはかられているか	3	学生情報を教職員で共有している。

3. 教育活動

評価項目	評価	取組状況
教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	4	理念に沿ったカリキュラムを作成しその目標に達するよう学生を指導している。
人材育成像や業界のニーズを踏まえて修業年限に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	2 年間にネイル、メイク、まつ毛エクステンション、国家試験に向けてのカリキュラムを策定して取り組んでいる。
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	年間計画を策定し実行している。
業界団体等の連携によりカリキュラムの作成やその他見直しがなされているか	3	業界団体である美容組合の意見を学校のカリキュラム作成に取り入れている。
授業評価の実施評価体制はあるか	3	授業の評価システムはない。学生等からの評価は口頭で聞く事になる。
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	学則で定められている基準で学生の評価、認定を行っている。
人材育成の目標の達成を行える教員が確保されているか	4	教員、外部講師共に多彩な人材を確保している。
美容分野における先端技術・知識を習得する為研修や教員の指導力向上の為の取組が行われているか	4	四国地区理容師美容師養成施設教職員研修会や美容業界で行われているＴＭモード普及講習会に参加した。外部講師を迎えての授業は、カラー、スタイリング、メイクの講師に来て頂き、その授業に参加し新しい技術の修得を行うことができた。

4. 学修成果

評価項目	評価	取組状況
就職率の向上はなされているか	4	サロン説明会を 2 回開催しサロンと学生が直接説明を受ける場を設けている。求人票については、組合立の学校なので、組合店舗と、県外のサロンからの求人票も提出されている。
資格修得率の向上が図られているか	4	国家資格や認定資格合格に向けてカリキュラムが組まれている。さらに試験前になると延長授業もして対処している。

退学率の低下が図られているか	4	退学者は前年度と同数でした。退学前に担任や教頭、校長と話し合いの場を設け相談にのっている。また、退学者に任意で退学理由のアンケートをとり原因を分析し退学率の低下に務めている。

5.学生支援

評価項目	評価	取組状況
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	組合立の学校ということもあり支援体制が整っている。
学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任制を取っているので、何事も担任に相談しやすい体制になっている。
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	昼間生に対しては、日本学生支援機構の手続きが行える。授業料が納入期日までに納められない人は、いませんでした。
父母と適切に連携しているか	4	必要に応じて父母に連絡が取れる体制になっている。また父母からの問い合わせにも随時対応しているので、連携はとれている。
卒業生への支援体制はあるか	4	卒業後に離職した場合は、再就職先相談にも応じている。何年後かに美容室開業の時には、融資等の相談にも応じている。

6.教育環境

評価項目	評価	取組状況
施設・整備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	法令に適合しているので、授業には、問題ない。保健衛生にも配慮している。
防災に対する体制は整備されているか	4	毎年防火訓練を1回行っている。消防設備保守点検を毎年業者に行ってもらい、消防署に提出している。

7.学生の受入募集

評価項目	評価	取組状況
学生募集活動は適正におこなわれているか	4	ＨＰに情報を公開している。 各高校に学校パンフレット、募集要項を送付した。 校長が、高校訪問を行っている。 オープンスクールを年間 11 回開催した。

学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	オープンスクールに於いて、進路相談会を行っている。その都度教育成果については、話をしている。

8. 財務

評価項目	評価	取組状況
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	昼間課程の入学者数がここ何年間かはあまり変動がなく、財政基盤は安定している。
予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	組合理事会、総代会において承認を得ている。
財務情報公開の体制整備はできているか	4	ホームページ上での情報公開を行っている。

9. 法令等の遵守

評価項目	評価	取組状況
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	関係団体や行政機関への申請等については、滞りなく提出している。
個人情報に対し、その保護の為の対策がとられているか	4	パソコンについてはパスワードの設定を徹底し、管理している。
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	自己評価を行い学校運営の改善等に役立てている。
自己評価結果を公表しているか	4	自己評価の結果を公開している。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価	取組状況
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	香川県の美容師試験会場として貸与している。 後継者育成として中学校に出向いて体験授業を行っている。